

令和6年度美術科<第1学年>年間指導計画

美術科 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2)造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3)美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

美術科 第1学年の目標

- (1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようになる。
- (2)自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする
- (3)楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

知は、知識及び技能、**思**は、美術の思考力、判断力、表現力等、**主**は、学びに向かう力

月	題材名(配当時間)	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4月	美術オリエンテーション『美術との出会い』。 <1時間>	美術科学習に向けて意欲を高める。	<ul style="list-style-type: none"> 心構え、授業内容の説明 年間授業内容・評価方法などの説明 表現の自由について理解を深める。 	思 造形的な良さを感じ取り、作者の心情や表現の意図などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	
	見つめると見えてくるもの <1時間>	作品を見つめ考えて味わう。	<ul style="list-style-type: none"> 芸術作品を鑑賞し、作品の造形的な良さや美しさを味わい作者の思いを考える。 	思 感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、表現の工夫を味わう。 主 作品に関心をもち進んで活動を行う。	5・6上 「じっと見つめてみると」
5月	スケッチからはじめよう ～鉛筆で表現しよう～ <2時間>	対象をみつめ丁寧に観察し、明暗の差に気づく。 対象の特徴を捉え、画材の特徴を生かしながら表現する。	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りのものを見つめ主体的にスケッチ、デッサンを行う。 作品づくりのために画家が制作したスケッチを鑑賞する。(資料集p.34～p.35) 鉛筆の使い方について学ぶ。(資料集p.36) 	知 身近なものから感じ取った形や色彩の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し構想を練っている。 表したい対象のイメージをもちながら意図に応じて描画材料の生かし方などを考え創意工夫して表現している。 思 身近なものの特徴や、良さや美しさ、主題と表現の工夫などを感じ取り自分の思いや考えをもって味わっている。	
				主 身近なもののデッサンに関心をもち、主体的に創意工夫してあらわしたり、表現の工夫などを感じ取ったりしようとしている。	
6月	いろいろな表現方法～モダンテクニックで表現しよう～ <3時間>	表現に関する知識を深める 得た知識を基に主題に合わせて表現する。	<ul style="list-style-type: none"> モダンテクニックを学び、作品制作に生かせるようにする。 色々な表現を組み合わせることができるようにする。 	知 主題に応じて材料や用具の生かし方などを考え、創意工夫して表現している。 主 不透明水彩を基にした表現に関心をもち、主体的に創意工夫して表したり、表現の工夫などを感じ取ったりしようとしている。	
	水彩絵の具で描く～絵の具で表現しよう～ <5時間>	色に関する知識を深める 得た知識を基に主題に合わせて表現する。	<ul style="list-style-type: none"> 色の三要素(色相・明度・彩度)色の対比、色の感じ、補色などについて学ぶ。 ポスターカラーの使い方や、筆の種類、効果的な塗り方、パレットの使用方法。水場の使い方について学ぶ。 学んだことを生かし表現する。 	知 主題を生み出し、色彩の効果をいかして、創造的な構成を工夫し、表現の構想を練っている。 主題に応じて材料や用具の生かし方などを考え、創意工夫して表現している。 思 主題の表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもって味わっている。	
7月				主 不透明水彩を基にした表現に関心をもち、主体的に創意工夫して表したり、表現の工夫などを感じ取ったりしようとしている。	

7月 8月	文字っておもしろい <2時間>	レタリングの技法を習得し、字体の書き分けができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> 身近にあるデザインされた文字を鑑賞し、形や色から受ける印象やその違いについて考える。 伝えたい内容を基に、文字の形の効果を考える。 レタリングの基本的技能を身につけ表現に生かす。 	知	字体の特徴をしっかりと捉え文字に対応して描き分けることができている。枠に収まるように崩れないように大きく描くことができている。	5・6上 「伝えたい思いや気持ち」
				思	文字の意味やイメージ、伝える場面をもとに、分かりやすさと形や色彩などの工夫を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。	
				主	文字の伝達表現に関心を持ち、主体的に創意工夫して表したり、表現の工夫などを感じ取ったりしようとしている。	
9月	印象に残るシンボルマーク <4時間>	伝えたいイメージを考え、形や色を工夫して、印象に残るシンボルマークを考える。	<ul style="list-style-type: none"> マークが地域や社会で、どのようにつかわれているか考える。 伝えたい内容を基に、色や形の効果を考える。 	知	具体物や文字などの形や色彩の特徴に着目し、伝達するイメージをとらえ、絵の具などを工夫して見通しを持って表す。	
				思	伝えたい内容やイメージ、伝える場面をもとに、分かりやすさと形や色彩などの工夫を考え、構成を練ったり、鑑賞したりする。	
				主	分かりやすく印象に残るマークをデザインすることに関心を持ち、意欲的に取り組む。	
10月	屏風、美のしかけ <5時間>	目的や条件などを基に日本の美意識を生かした構成や装飾を考え、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に屏風を制作する。	<ul style="list-style-type: none"> 屏風ならではの美しさや工夫について触れ、それを生かして表現する。 自分の空間を彩る屏風を制作する。 	知	構図、余白、折りによる空間や奥行き表現などに着目し、その効果をとらえる。	
				思	屏風の表現のよさや美しさ、余白や折りなどの作者の意図と工夫、美術文化について考え、鑑賞する。	
				主	屏風の表現のよさや見え方の変化などに関心を持ち、意欲的に鑑賞、制作に取り組む。	
11月	美のタイムトラベル <2時間>	原始美術に触れ、太古の人々の思いを想像する。	<ul style="list-style-type: none"> 芸術作品を鑑賞し、作品の造形的な良さや美しさを味わい作者の思いを考える。 	知	形や色彩、模様、材料や場所に着目し、印象などをとらえる。	
				思	原始美術の造形的なよさや美しさ、当時の人々の願いや、作者の意図と工夫、美術文化について考え、鑑賞する。	
				主	原始美術の造形的なよさ、意図と工夫などに関心を持ち、意欲的に鑑賞に取り組む。	
12月	立体的に描く方法 ～透視図法で空間表現～ <2時間>	透視図法を学び、表現の幅を広げる。透視図法を通して、デッサンの技法を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 1点透視、2点透視、3点透視図法を学び、奥行きのある空間表現ができるようになる。 	知	透視図法を理解し、立体感を表現できている。	
				主	透視図法に関心を持ち、積極的に活動に取り組んでいる。	
1月	MY キャラクターデザイン <4時間>	コンセプトに合ったキャラクターをデザインすることを通して、主題を捉えて表現に生かすことを学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> テーマを決めてオリジナルキャラクターをデザインする。 見る側の気持ちを考え、コンセプトが伝わるようなデザインをする。 	知	見る側の気持ちを考え、コンセプトに沿ったデザインをする。創造的な構成を工夫し、構想を練っている。デザインやコンセプトを踏まえて、見る人に伝わるように表現している。	
				思	対象のイメージ、主題と表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもって味わっている。	
				主	キャラクターデザインに関心を持ち、主体的に創意工夫して表したり、表現の工夫などを感じ取ったりしようとしている。	
2月	守り神の面 ～美と情熱の伝承～ <10時間>	動物をよく観察して、特徴をとらえてデザインする。また、様々な角度からモチーフを捉え立体的に制作する技能を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> モチーフをよく観察し、特徴を捉える。 芸術作品の要素を足したデザインを構想する。 紙の特性を生かして、加工方法や用具などを適切に考えて制作する。 互いの作品の良さや工夫を感じる。 	知	使用する者の気持ちなどから形的美しさなどを考え、造形の構想を練っている。表したいイメージを持ちながら意図に応じて用具の特性をいかし制作の順序などを考え創意工夫して表現している。	
				思	美しさや、作品を持つ人への作者の心遣いを自分の思いや考えをもって味わっている。	
				主	デザイン表現に関心を持ち、主体的に創意工夫して表したり、表現の工夫などを感じ取ったりしようとしている。	
3月	切って、広げて ～自分で生み出す美しさ～ <4時間>	身近な美しさや面白さを感じ取る力を育む。	<ul style="list-style-type: none"> 紙の特性を生かし、飾る目的や場所を考えながら、装飾を作り出す。 	知	形や色彩、構成などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基によさや美しさなどを全体のイメージで捉えている。	
				知	紋の形、飾る場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考えたり、表現したりする構想を練っている。	
				主	美術の創造活動の喜びを味わい、紋の形や色彩を生かして様々な折り方や切り方に挑戦し取り組みようとしている。	

令和6年度美術科<第2学年>年間指導計画

美術科 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

美術科 第2学年の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

知は、知識及び技能、関は、美術の思考力、判断力、表現力等、主は、学びに向かう力

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4月	オリエンテーション <1時間>	美術科学習について意欲を高める。	<ul style="list-style-type: none"> 心構え、授業内容の説明 年間授業内容・評価方法などの説明 	学 学習内容に関心を持って意欲的に授業に取り組むことができたか。	
5月	<ul style="list-style-type: none"> 浮世絵はすごい 文化の出会いがもたらしたもの <10時間>	日本と西洋の美術文化が影響あっていることや、相違や共通性に気づき、美術文化を継承し創造することの意義を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 作品を鑑賞し、初めに感じたことや考えたことについて友達と話し合う。 西洋の美術作品に影響を与えた日本の美術作品のよさや美しさについて時代背景も視野に入れて考え、意見を述べ合う。 日本や西洋の美術作品のよさや美しさを味わい、感じ取ったことや考えたことを版画作品制作に生かす。 	知 <ul style="list-style-type: none"> 構図や色彩、線、彫りや摺りの特徴に着目し、浮世絵の作風や作品の印象などをとらえる。 感性や想像力を働かせて深く見詰め感じ取ったことなどを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調などを試みながらイメージを摸索し、創造的な構成を工夫し、心豊かな表現の構想を練っている。 感性や造形感覚などを働かせて、版画の特性を生かし、制作の順序などを総合的に考えながら創造的に表現している。 	
6月				関 浮世絵の表現のよさや美しさ、版画としての特性、制作者たちの意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考え、鑑賞する。	
				主 <ul style="list-style-type: none"> 浮世絵の表現の良さや特性などに関心を持ち、意欲的に取り組む。 感じ取ったことなどを基にイメージを広げて表現することに関心を持ち、主体的に心豊かな表現の構想を練ったり版画の特性を生かしたりしようとしている。 	
7月	その一枚が人を動かす <2時間>	心でとらえた感情や言葉の印象などから主題を生み出し、形や色彩の効果、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に版画で表現する。	<ul style="list-style-type: none"> イラストレーションや文字色彩などを効果的に生かし、テーマに合わせた主題を考え、美しく、印象に残るようなポスターを制作する。 	知 イラストレーションや写真、文字の形や色彩、構成などに着目し、伝達するイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かし、見通しを持って表す。	
				関 伝えたい情報やイメージ、伝える場面をもとに、形や色彩、写真やイラストレーション、文字による伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。	
				主 美しく印象に残るポスターなどをデザインすることに関心を持ち、意欲的に取り組む。	

8月 9月	ひと目で伝えるための工夫 <4時間>	基本的な技法について学び、今後の制作に役立てることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・コラーージュ、スパッターリング、フロッターージュ、パチック、ドリッピング、吹き流し、デカルコマニー、ストリングの技法を学ぶ。 	知	具体物や行為を表す形の特徴などに着目し、伝達のイメージなどをとらえ、絵の具などの特性を生かし、見通しを持って表す。
				思	伝えたい内容やイメージ、伝える場面などをもとに、形や色彩などによる伝達の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。
				学	ひと目で伝わるピクトグラムなどをデザインすることに関心を持ち、意欲的に取り組む。
10月	石のハンコに思いを込めて（篆刻） <10時間>	テーマに沿った印面と持ち手を制作し、材料や用具の生かし方などを工夫して表す。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のテーマを印面と持ち手で表し、ハンコを制作する。 ・材料の持つ特性を生かした作品のよさを味わう。 	知	感性や想像力を働かせて主題を生み出し、材料を活用し、心豊かな表現の構想を練っている。新たな表現方法を工夫したり、制作の順序など見通しをもちながら表現したりしている。
				思	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたことを基に表現した作品を味わっているか。
				学	篆刻の制作に関心を持ち、主体的に心豊かな表現の構想を練ったり、石の特性を生かした表現ができたか。
11月 12月	名画の魅力に迫る <2時間>	形や色彩、構図や描き方、制作過程から作者の心情や意図と創造的な表現の工夫を感じ取り、自分の見方や考え方で味わう。	<ul style="list-style-type: none"> ・作品から時代背景や作者の心情などを読み解き、美術のもつ力について意見を交わす。 ・作品を鑑賞し、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品からうける思いについて意見を述べ合う。 	思	造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。
学				美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
1月 2月 3月	季節を楽しむ心 <6時間>	テーマや自分の世界観を和菓子を通して、表現する力を養う。また、製品として、てにとってもらうことを意識して創造的にデザインする。	<ul style="list-style-type: none"> ・和菓子の制作を通して、見る人の気持ちや作品の世界観、テーマを総合的に考え、表現の構想を練る。 ・形や色使いに注目し、日本の伝統的な要素にも興味を持ち、作品制作に生かせるようになる。 	知	自然や季節を感じさせる形や色彩に着目し、造形物の美しさをとらえ、材料や用具の特性を生かし、見通しを持って表す。
思				季節感を取り入れた日本の伝統や、使う場面などをもとに、形や色彩、材料などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。	
学				生活に息づく美術の動きに気づき、季節感を表すことに関心を持ち、意欲的に取り組む。	

令和6年度美術科＜第3学年＞年間指導計画

美術科 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

美術科 第3学年の目標

- (4) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- (5) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (6) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

知は、知識及び技能、思は、美術の思考力、判断力、表現力等、主は、学びに向かう力

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4月	オリエンテーション ＜1時間＞	美術科学習について意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・心構え、授業内容の説明 ・年間授業内容・評価方法などの説明 	学 学習内容に関心を持って意図的に授業に取り組むことができたか。	
5月	魅力を伝えるパッケージ ＜10時間＞	商品のイメージを表したり中身の魅力や気持ちを伝えるパッケージを手取る人や受け取る人の気持ちを想像する。	<ul style="list-style-type: none"> ・商品のイメージを表したり中身の魅力や気持ちを伝えるパッケージを手取る人や受け取る人の気持ちを想像しながら、デザインを工夫してパッケージを制作する。 	知 形や色彩、質感などに着目し、意図やイメージをとらえ、材料や用具の特性を生かし、つ見通しを持って表す。	
				思 伝える目的や条件、中身のイメージをもとに、美しさや伝達の効果などを考え、構想を練ったり、鑑賞したりする。	
				主 中身のイメージなどから、パッケージをデザインすることに関心を持ち、意欲的に取り組む。	
6月	仏像に宿る心 ＜2時間＞	造形から作者の心情や意図と創造的な表現の工夫を感じ取り、自分の見方や考え方で味わう。	<ul style="list-style-type: none"> ・作品から時代背景や作者の心情などを読み解き、美術のもつ力について意見を交わす。 ・作品を鑑賞し、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、レポートを作成する。 	知 顔や手の表情、形や材料、質感、空間などに着目し、印象などをとらえる。	
				思 仏像彫刻のよさや美しさ、作者の意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考え、鑑賞する。	
				主 仏像彫刻の特色、よさや美しさなどに関心を持ち、意欲的に鑑賞に取り組む。	
7月					

8月					
9月	私との対話 <10時間>	これまでの自分やこれからの自分について、自分自身と向き合い対話しながら表現することを通して、卒業後の自分を思い描き、より良い生き方を探る手掛かりにする。	<ul style="list-style-type: none"> これまで学んできた表現方法を生かして、自分自身と向き合い主題を考えて絵や立体などの方法で表現する。 	<p>知</p> <p>自分の内面と向き合い、感じて考えたことをもとに形や色彩などの効果を生かした表現方法を考え構想を練っている。 絵や立体など様々な表現方法を工夫して、自分自身を表現することができている。</p>	
10月				<p>思</p> <p>造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	
11月				<p>主</p> <p>美術の創造活動の喜びを味わい主体的に自分の姿から感じ取ったことや心の内面などを基に構想を練ったり、構図や表情など意図に応じて表現方法を創意工夫して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。</p>	
12月	やさしさのデザイン <2時間> 鑑賞	使いやすさや安全性、使用するものの気持ちなどを考え、材料や用具の生かし方などを工夫したデザインを鑑賞する。	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインについて学び、思いやりのデザインを学ぶ グループでユニバーサルデザインについて話し合い、使いやすさを追求する。 	<p>学</p> <p>ユニバーサルデザインに関心を持ち、表現の工夫や思いやりの気持ちを感じ取ろうとしている。</p>	
1月				<p>思</p> <p>より多くの人々がわかりやすく使うことができる洗練されたデザインや作り手の意図を感じ取り、自分の価値意識をもって話し合いに参加している。</p>	
2月	心がなごむカトラリー <10時間>	使う人の心がなごむデザインを考え、制作することを通して、プロダクトデザインや社会と美術の繋がりについて学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> プロダクトデザインについて学び、普段何気なく使われている身の回りの物のデザインのすばらしさを学ぶ。 使う人のことを考えてデザインし、カトラリーを制作する。 	<p>知</p> <p>考えたデザインをもとに、デザインの意図が伝わるように制作することができている。</p>	
3月				<p>思</p> <p>形や色彩、素材感、使い勝手の良さに加え、遊び心を生かしながらデザインしている。</p>	
				<p>学</p> <p>プロダクトデザインに関心を持ち、デザインの工夫などを感じ取り作品に生かそうとしている</p>	